

200400365A

厚生労働科学研究費補助金
子ども家庭総合研究事業

生涯を通じた健康の管理・保持増進のための
健康教育・相談支援等の充実に関する研究
平成16年度総括・分担研究報告書

主任研究者 稲葉 裕

平成17(2005)年3月

厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業

生涯を通じた健康の管理・保持増進のための 健康教育・相談支援等の充実に関する研究

平成16年度総括・分担研究報告書

主任研究者 稲葉 裕

厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業

生涯を通じた健康の管理・保持増進のための
健康教育・相談支援等の充実に関する研究班

平成17年3月

**2004 Annual Report of
Research On Children and Families**

The Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

March 2005

Chairman: Yutaka Inaba, M.D., Ph.D.

序

3年間の研究事業の最終年度を終えて少しほっとしている。

この研究の目的は、当初「女性に対し女性の健康問題をより適切に教育することで医療の効率化につながるか、健全な食生活や適切な身体活動度の維持などの一次予防を行っている者では医療費が減少し保健寿命が向上するか、また生活習慣病の発生が遅延するか、逆に喫煙や過度な飲酒など健康を害する生活習慣を行っている者では医療費が上昇するか、また、適切なリハビリテーションを早期に受診した者では医療費が減少すると共に健康寿命が上昇するかどうかを明らかにする。」という内容であったが、最終年度の報告書の目的には、「種々の疾患で性差のあることは古くから知られているが、その理由の解明や対策が注目され始めたのはつい最近10年ぐらいのことである。生涯を通じた女性の健康づくりの観点から、現在のわが国における女性の健康障害の実状を明らかにすること、またその健康管理や相談支援の体制についての提案するための基礎的な資料づくりをすることがこの研究の目的である。」と書かざるを得なかった。一つには、我々の研究計画に甘さがあったこともあるが、一方には個人情報保護を巡る倫理問題が表面化してきて、疫学調査に対して予想以上に警戒する雰囲気があったために、調査の方向を変えざるを得なかった事情もあった。

ただし、最終年度はこれまでの2年間と比較して、急速な研究成果の増大を見た1年であった。加えて、これまで2年間の報告書で厚生労働省から提示された頁数の枠をはずしていただき、思い切って分厚い報告書をまとめることになった。急速なデータの蓄積のために、十分な検討されていない生のデータが数多く含まれていて、読む方々によっては少々うんざりされるかもしれない。しかし、このデータを公表しておくことで今後の研究の展開が期待できるという事情もくみ取っていただきたいと願っている。

3年間お世話になった分担研究者、協力研究者のみなさまに深く感謝したい。

2005年3月30日記 主任研究者 稲葉 裕

目 次

| | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| I. 研究班構成員名簿 | 1 |
| II. 総括研究報告書 | |
| 生涯を通じた健康の管理・保持増進のための健康教育・相談支援等の充実 に関する研究 | 3 |
| 主任研究者 稲葉 裕 順天堂大学医学部衛生学教授 | |
| III. 分担研究報告・協力研究報告 | |
| 1. 女性外来受診者等に関する研究（千葉県） | 5 |
| 平井愛山（千葉県立東金病院）、 宮原富士子（千葉県健康福祉部健康増進課女性の健康支援室嘱託） | |
| 2. 女性の生殖歴の変化と全死亡に対するリスク | 398 |
| 三上春夫（千葉県がんセンター疫学研究部） | |
| 3. 国民栄養調査対象者の代表性に関する検討 | 405 |
| 松村康弘、片野田耕太（国立健康・栄養研究所・健康栄養情報・教育研究部） | |
| 4. 塩分摂取と脳卒中死亡における前向きな研究および大豆摂取と女性の健康 に関する横断研究 | 411 |
| 永田知里（岐阜大学大学院医学部・疫学・予防医学） | |
| 5. 千葉県鴨川市・天津小湊町住民を対象としたコホート研究「おたっしや調査」： ベースライン調査結果報告 | 414 |
| 水嶋春朔（国立保健医療科学院人材育成部/東京大学医学教育国際協力研 究センター(併任))、 天野恵子（千葉県衛生研究所）、 一戸貞人、柳堀朗子（千葉県衛生研究所・健康疫学）、 渡辺芳子、當山紀子（東京大学医学教育国際協力研究センター）、 別府文隆（東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻・医療情報管理部門） | |
| 6. 性差に注目した死因別死亡率・疾患別受療率と生活習慣及び食生活との関連 —都道府県を単位とした生態学的研究— | 421 |
| 邱 冬梅、稲葉 裕、黒澤美智子、鄭 美花（順天堂大学医学部・衛生学）、 松村康弘（国立健康・栄養研究所・健康栄養情報・教育研究部） | |

| | |
|---------------------------------------------------------------------------|-----|
| 7. 死因別性比の検討 - 部位別癌死亡について | 453 |
| 鄭 美花、邱 冬梅、稲葉 裕、黒沢美智子（順天堂大学医学部・衛生学）、 玉腰暁子（名古屋大学大学院医学研究科健康社会医学専攻 社会生命科学） | |
| IV. 事務局記録 | 461 |
| V. 研究成果の刊行に関する一覧表 | 463 |
| VI. 研究成果の刊行物・別刷 | 465 |

I . 研究班構成員名簿

生涯を通じた健康の管理・保持増進のための 健康教育・相談支援等の充実に関する研究班組織

構成員一覧

| 区 分 | 氏 名 | 所 属 | 職 名 |
|----------------------|--------------------|--------------------------------------|-------|
| 主任研究者 | いなば ゆたか 稲葉 裕 | 順天堂大学医学部衛生学 | 教 授 |
| 分担研究者 | ひらい あいざん 平井 愛山 | 千葉県立東金病院 | 院 長 |
| | みかみ はるお 三上 春夫 | 千葉県がんセンター研究局・疫学研究部 | 部 長 |
| | まつむら やすひろ 松村 康弘 | 独立行政法人 国立健康・栄養研究所 健康栄養情報・教育研究部 | 部 長 |
| | ながた ちさと 永田 知里 | 岐阜大学医学部医学科総合病態・予防医学講座 疫学・予防医学分野 | 助 教 授 |
| みずしま しゅんさく 水嶋 春朔 | 国立保健医療科学院・人材育成部 | 部 長 | |
| 研究協力者 | たまごし あきこ 玉腰 暁子 | 名古屋大学大学院医学研究科 健康社会医学専攻社会生命科学大講座 | 助 教 授 |
| | たけお ちかり 竹尾 愛理 | 千葉県立東金病院女性総合診療科 | 医 師 |
| | せがみ きよたか 瀬上 清貴 | 千葉大学大学院医学研究院細胞治療学 厚生労働省大臣官房（健康担当） | 参 事 官 |
| | あまの けいこ 天野 恵子 | 千葉県衛生研究所 | 所 長 |
| | はやの ともこ 早野 智子 | 国立下関病院女性総合診療 | チ ー フ |
| (事 務 局) 事務連絡担当責任者 | くろさわ みちこ 黒沢美智子 | 順天堂大学医学部・衛生学 | 助 手 |

II. 総括研究報告書

生涯を通じた健康の管理・保持増進のための 健康教育・相談支援等の充実に関する研究

主任研究者 稲葉 裕 順天堂大学医学部衛生学教授

分担研究者

平井愛山 千葉県立東金病院院長
三上春夫 千葉県がんセンター研究局・疫学研究部部長
村松康弘 国立健康・栄養研究所健康栄養情報・教育研究部部長
永田知里 岐阜大学医学部医学科総合病態・予防医学講座疫学予防医学分野助教授
水嶋春朔 国立保健医療科学院人材育成部部長

<背景> 近年、女性の健康問題への関心が高まっている。種々の疾患で性差のあることは古くから知られているが、その理由の解明や対策が注目され始めたのはつい最近10年ぐらいのことである。日本ではまだこの面での研究は不十分であり、生涯を通じた女性の健康づくりの観点から、性差を踏まえたきめ細かな保健医療対策をたてるための基礎的な資料づくりをすることがこの研究の目的である。

<研究の概要> 「女性の医療と健康づくり」施策の実施を明確に打ち出した千葉県において、現在までに「女性専用外来」が8病院で開始されている。また一方で、15保健所に女性医師による女性の健康相談事業を設置し、女性専用外来と同じ質問紙を使用して、比較調査を行っている。2700名の間診票解析を行った結果、来所者の主な受診理由は①からだの不調、②更年期(閉経)関連事項、③心の問題、④セカンドオピニオン等であった。保健所と医療施設では受診目的の割合がやや異なり、医療施設受診者は保健所来所者よりからだの不調や更年期関連の相談割合が高く、保健所来所者にはセカンドオピニオン関連の相談割合が高かった。今まで明らかにされなかった実態が見

えてきた。

同じ千葉県で地域による女性の健康障害の状況とその理由を検討するために、2つのコホート研究を実施しつつある。一つは県北栗源町の医療供給体制の弱い地域で、すでに1989-90年に質問紙調査を実施しており、もう一つは県南の医療供給体制がきわめてよい安房地域で、2004年から調査を開始した。前者のコホートで、生殖歴の全死亡に対するリスクの傾向を総括すると、1)初潮年齢の低下と閉経年齢の上昇は女性の寿命を延長させ、2)初産は20歳代が望ましく、3)妊娠回数は女性の寿命を規定する重要な因子で、1~2子が望ましいことが示された。後者のコホートではベースライン調査として、生活習慣や予防保健サービス利用状況と健康状態、QOL等に関する調査票を実施、集計解析をすすめた。30分間のビデオを製作し千葉TVにて放映、参加行動への影響を評価した。

岐阜県高山でのコホート研究では、塩分摂取と脳卒中死亡に関する分析では男性においてナトリウム摂取と脳内出血、脳梗塞死亡に統計的に有意な正の関連性が示された。女性では統計的に有意でないもののナトリウム摂取と脳卒中全体、脳梗塞による死亡に正の関連性が認められた。

大規模コホートの分析結果では甲状腺、胆のう癌を除く殆どの部位別がん死亡で男性の死亡リスクが高かった。喫煙や飲酒で調整しても男性の死亡リスクが高い癌は食道、胃、直腸、肝、肺、腎で、本質的に男性の死亡リスクが高いことが示唆された。しかし結腸、膀胱、喉頭、その他及び部位不明の胆道癌死亡では喫煙を調整すると性差は認められず、喫煙の影響が大きい

ことがわかった。

国民栄養調査データの解析では、性、年齢、居住地および世帯員数の点から調査対象者の代表性が検討され、独居世帯以外の世帯に属する人についてはおおむね母集団を代表していると考えられた。

死因別年齢調整死亡率、疾患別年齢調整受療率を算出し、性別、都道府県別の分布図を作成した。死因別では男女共通のものが多かったが、疾患別受療率では男女の分布に差がみられるものが多かった。生活習慣や食品摂取量との地域相関では、各種の脳血管障害の死亡率で、味噌類の摂取との正の関連が見られたり、心疾患で男が米と負の、女がパンと正の相関が見られるなどの結果が得られているが、意味づけには年齢別に見るなどのさらに詳しい解析が必要と考える。

3年間の研究期間の最後の年度報告書として、ある程度の成果は挙げられたものと自負している。この結果が今後展開されるであろう新たな女性医療サービスの基礎が確実なものになり、女性の健康支援事業の展開に貢献することを期待する。

健康危険情報
特になし

研究発表 (平成 16 年度)

1. 論文発表

- 1) Fujino Y, Tamakoshi A, Hoshiyama Y, Mikami H, Okamoto N, Ohno Y, Yoshimura T, for the Japan Collaborative Cohort Study Group. Prospective study of transfusion history and thyroid cancer incidence among females in Japan. *Int J Cancer*; 112(4):722-725, 2004.

- 2) Nagata C, Takatsuka N, Shimizu N, Shimizu H. Sodium intake and risk of death from stroke in Japanese men and women. *Stroke*;35:1543-1547, 2004.

- 3) Nagata C, Hirokawa K, Shimizu N, Shimizu H. Soy, fat and other dietary factors in relation to premenstrual symptoms in Japanese women. *BJOG*;111:594-599, 2004.

- 4) Nagata C, Hirokawa K, Shimizu N, Shimizu H. Associations of menstrual pain with intakes of soy, fat and dietary fiber in Japanese women. *Eur J Clin Nutr*;59:88-92, 2005.

2. 学会発表

- 1) 邱 冬梅、稲葉 裕、黒澤美智子、松村康弘、瀬上清貴女性部位別悪性新生物と食生活の地域相関 日本公衆衛生雑誌;51(10号特別付録):198, 2004.

- 2) 永田知里、高松直能、清水なつき、清水博之。塩分摂取と脳卒中死亡に関する前向きコホート研究。第15回日本疫学会、滋賀、2005.

- 3) 水嶋春朔、渡辺芳子、當山紀子、別府文隆、柳堀朗子、一戸貞人、天野恵子。千葉県鴨川市・天津小湊町住民を対象としたコホート研究「おたっしや調査」：ベースライン調査結果報告。第15回日本疫学会、滋賀、2005

- 4) 邱 冬梅、稲葉 裕、黒澤美智子、松村康弘 日本女性における脳血管疾患死亡率と栄養状況との生態学的研究 *Supplement to Journal of Epidemiology*;15(1):188, 2005.

知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

特許取得 特になし

実用新案登録 特になし

その他 特になし

Ⅲ. 分担研究報告・協力研究報告

女性外来受診者等に関する研究（千葉県）

分担研究者：平井 愛山 千葉県立東金病院 院長

共同研究者：宮原 富士子 千葉県健康福祉部健康増進課女性の健康支援室嘱託

研究の目的

①千葉県において「生涯にわたる女性の健康支援施策」の一環として展開されている「女性専用外来」「保健所における女性医師による相談窓口」「女性の健康づくり教室」等に訪れる女性における「女性医療ニーズ」「健康認識」「生活習慣」「医療・検診の受診状況」の実態を把握し、女性医療に関する医学的・社会的ニーズを明らかにする。

②明らかにされたニーズをもとに、女性医療にあるべき姿の検討を行い、本邦における生涯にわたる健康支援に関する行政提言を行い、本邦全体の女性医療の質の向上を図る基盤とする。

千葉県においては、健康ちば21の施策のひとつの柱として“生涯を通じた女性の健康づくりを推進する”ことを目標におき、全国に先駆けてGender-Specific Medicineの視点から女性の健康と医療に関する施策を展開している。「女性の健康支援事業」としては「母子保健・STD対策等」「がん対策。骨粗鬆症対策」とともに女性専用外来の充実、保健所（保健福祉センター）における女性の健康相談の充実、健康づくり教室への積極的支援を行い、かつ女性の健康に関するさまざまな疫学調査を実施することで、女性の健康寿命延長への施策展開を目指している。本研究はこの疫学調査を一環として行うもので、「女性専用外来」「保健所（保健福祉センター）における女性の健康相談」等に受診あるいは相談を受けた地域住民女性に対して、健康相談票（アンケート）を行うことで、女性医療ニーズ」「健康認識」「生活習慣」「医療・検診の受診状況」の実態を把握し、女性医療に関する医学的・社会的ニーズを明らかにすることを目的としたものである。

女性の健康相談票（巻末添付）

実施期間：平成 14 年度 4 月より平成 16 年度 11 月まで

実施対象：県立病院等県下女性外来開設施設および保健所（保健福祉センター）

集計票数：2934 件

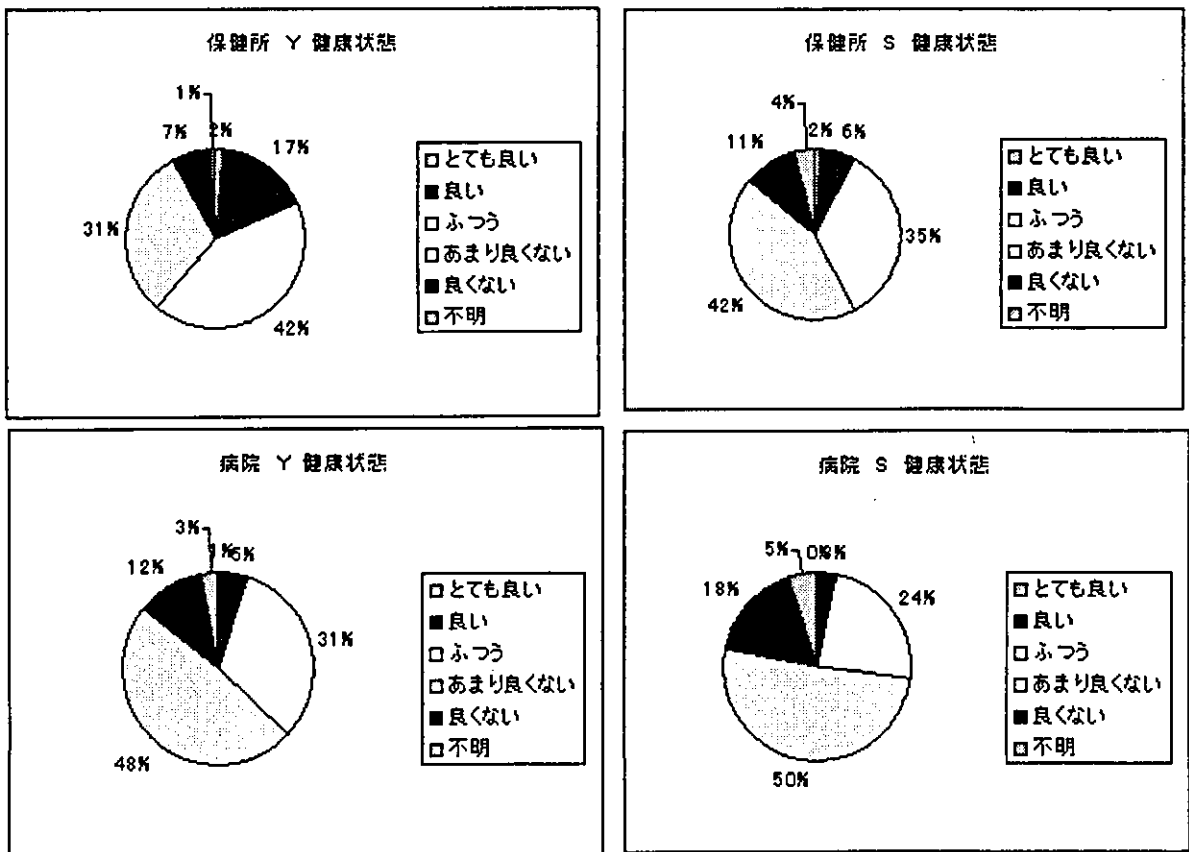
| | 保健福祉センター (保健所) | 病院 | 無記載等 | 小計 | |
|--------|-------------------|-------|------|-------------|--------|
| 40 歳未満 | 458 | 475 | 50 | 983 | 33.5% |
| 40 歳以上 | 678 | 1108 | 165 | 1951 | 66.5% |
| 小計 | 1136 | 1583 | 215 | 2934 | 100.0% |
| | 38.7% | 54.0% | 7.3% | 100.0% | |

対象者（40 歳以上 n=1951）中、「閉経している」と回答した女性は 831 名(42.6%)

対象者全体（n=2934 名）中、子宮もしくは「卵巣摘出経験あり」と回答した女性は 355 名(12.1%)

問 1 現在の健康状態

病院（40 歳未満）病院・保健所（40 歳以上）では「あまり良くない」「良くない」と回答している率が各々 60.2%、67.9%、53.8%であるのに対し、保健所においては 40 歳未満の相談者の場合は、健康状態は「とても良い」「良い」「ふつう」と回答している率が 60.6%を占めていた。40 歳未満の女性にとって保健所の女性医師による健康相談は体調の不調だけでなく健康相談や健康について知りたいことがある場合にも利用されていることが示された。



問2 現在の自分の健康について、あるいは今後の自分の健康について心配なこと

さまざまな記載により心配事が表現されている。これらの症状 あるいはその症状が心配となる背景や理由を把握することは、今後の女性対象の保健教育のあり方や病院や保健所などの女性外来での受け入れ体制の準備に大いに役立つと思われる。

問2 (Yは40歳未満、Sは40歳以上の回答)

| | 主な内容 | 自分は〇〇であるのが心配である |
|---|--------|---------------------------------------------------------|
| Y | 全身的なこと | 足が重くなったり、体がだるくなる時がある |
| Y | 全身的なこと | あまり気力がない |
| Y | 全身的なこと | 医者で何でもないとと言われても、症状がいろいろ |
| Y | 全身的なこと | 運動不足からの冷え性。顔のふき出物が治らない |
| Y | 全身的なこと | おちこちの身体不調 |
| Y | 全身的なこと | 肩・首・頭・目が常に痛い |
| Y | 全身的なこと | 下腹部痛があったり、むくみがでたり、尿量が少なくなったり濃くなったり、立ったり座ったりすると膝の痛みがあるのが |
| Y | 全身的なこと | 体が弱い |
| Y | 全身的なこと | 薬を飲まない生活は考えられないの |
| Y | 全身的なこと | 健康な20歳代の女性でなくなる |
| Y | 全身的なこと | 今後どうなってしまうのか |
| Y | 全身的なこと | 自分の身体に自身がいないの |
| Y | 全身的なこと | しょうがいひとりなのかな？ |
| Y | 全身的なこと | 食欲ない・動き・冷え |
| Y | 全身的なこと | 自律神経失調症 |
| Y | 全身的なこと | 自律神経失調症・筋緊張性頭痛 |
| Y | 全身的なこと | すぐ体調をくずしやすい体質 |
| Y | 全身的なこと | 総合失調症・過食・嘔吐 |
| Y | 全身的なこと | 体力不足 |
| Y | 全身的なこと | 疲れやすい |
| Y | 全身的なこと | どうして突然具合が悪くなるとか |
| Y | 全身的なこと | なぜ不調になる事があるのか？ |
| Y | 全身的なこと | 何が原因で体調が悪いのか？ |
| Y | 全身的なこと | 何もできない |
| Y | 全身的なこと | 肉体的・精神的に不安定 |
| Y | 全身的なこと | のぼせ・気が遠くなる・夜眠れないのが心配 |
| Y | 全身的なこと | 冷え性 |
| Y | 全身的なこと | 微熱・行行 |
| Y | 全身的なこと | めまい感・くらくらする・ほてる |

| | | |
|---|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Y | 全身的なこと | めまいや、無気力で、頭痛 |
| Y | 全身的なこと | もう更年期？ |
| Y | 全身的なこと | 老化が人より早いような感じがするの |
| Y | 全身的なこと | 肋間神経痛・目がかすむ・肩こり・頭痛・焦燥感・イライラ・胸痛 |
| Y | 全身的なこと | 昨年の9月に出産をし、今8ヶ月半でハイハイ・つたい歩きを始め、目が離せなくなりました。ある日主人の行動に不満がありイライラ、子供にイライラしてたらジマシオンがひたいのハジに出て皮フ科へ。ストレスからと言われ、小さかったので薬はなし。次の日はひたい全体、片目がむくむ。その次の日はさらにあごに出て、一日ひきませんでした。それから明け方毎日両手の平に出てかゆくて起きてしまい、何だろうと悩みました。気分が良い日はジマシオンがひいたりしますが、イライラすると首・おなか・もも・足とだんだん下へさがりながら出てま |
| Y | 全身的なこと | 体の痛みが治らないのか |
| Y | 全身的なこと | 原因不明の左側、横腹の痛み・だるさ |
| Y | 全身的なこと | 体臭・ニオイ |
| Y | 全身的なこと | 多汗症 |
| Y | 運動器関連 | 関節痛・筋肉痛 |
| Y | 運動器関連 | ヘルニア |
| Y | 運動器関連 | 右の股関節が痛いよう |
| Y | 月経関連 | 生理の量がだんだん少なくなって、止まってしまうのではないか |
| Y | 月経関連 | H15、7～生理不順 |
| Y | 月経関連 | 以前から子宮内膜症と言われていた。子宮双嚢と今回初めて言われたが、今後妊娠可能 |
| Y | 月経関連 | 胸痛、重い生理痛(筋腫) |
| Y | 月経関連 | 血圧が高め、月経前後の左胸の痛み |
| Y | 月経関連 | 月経が不順 |
| Y | 月経関連 | 月経時に熱が出て、口の痛み咽頭通 |
| Y | 月経関連 | 月経時の体調不良 |
| Y | 月経関連 | 月経痛 |
| Y | 月経関連 | 月経痛と月経のおくれ。ゆううつになる |
| Y | 月経関連 | 月経のこと |
| Y | 月経関連 | 月経不順 |
| Y | 月経関連 | 月経不順・少しうつ気味・胸のはり、しぼみがはげしい |
| Y | 月経関連 | 月経前10日位前より頭痛やその他症状が出るの |
| Y | 月経関連 | 月経前緊張症 |
| Y | 月経関連 | 月経前症候群・うつ症 |
| Y | 月経関連 | 下腹痛・月経不順 |
| Y | 月経関連 | 生理がきちんとこないで、不正出血がある |
| Y | 月経関連 | 生理がこない |

| | | |
|---|---------|-------------------------------|
| Y | 月経関連 | 生理が非常に重い |
| Y | 月経関連 | 生理期間が近い、生理の量が少ない |
| Y | 月経関連 | 生理時の量が少なくなってきた |
| Y | 月経関連 | 生理痛・はきけがある |
| Y | 月経関連 | 生理痛が重い |
| Y | 月経関連 | 生理痛が重い、疲労がなかなか回復しない |
| Y | 月経関連 | 生理痛がおもいこと |
| Y | 月経関連 | 生理の前後の頭痛・高血圧・肥満・目まい |
| Y | 月経関連 | 生理不順 |
| Y | 月経関連 | 生理不順 |
| Y | 月経関連 | 生理不順 |
| Y | 月経関連 | 生理不順(周期が長い) |
| Y | 月経関連 | 生理不順(初潮時から現在まで) |
| Y | 月経関連 | 生理不順(生理が来ない) |
| Y | 月経関連 | 生理不順・情緒不安定 |
| Y | 月経関連 | 生理不順・精神的に不安定・不眠ぎみ |
| Y | 月経関連 | 生理不順・貧血 |
| Y | 月経関連 | 生理前から生理中の精神的不安定 |
| Y | 月経関連 | 月に2回生理がある |
| Y | 月経関連 | 糖尿病、生理前緊張症、月経困難症 |
| Y | 月経関連 | みけん・まぶたの奥が重痛い、生理前・生理痛が強い |
| Y | 月経関連 | 無月経 |
| Y | 月経関連 | もう生理は、あがってしまったのか |
| Y | 月経関連 | 左下腹部痛(時々しくしく痛む。まれにさしこむように痛む。) |
| Y | 検診 | H15-5 子宮がん検後、多彩な症状が出てきている |
| Y | 腫瘍 | 副甲状腺機能抗進症に腫瘍がみられるの |
| Y | 消化器関連 | 胃からお腹にかけて膨満感・便秘 |
| Y | 消化器関連 | 胃痛・腹痛・下痢・頭痛・生理痛 |
| Y | 消化器関連 | 慢性胃炎 |
| Y | 頭痛関連 | 頭痛・めまい・動悸など不特定の症状 |
| Y | 頭痛関連 | 頭痛がひどい |
| Y | 頭痛関連 | 頭痛をはじめとする何か重い病気 |
| Y | 頭痛関連 | 偏頭痛が多くなること |
| Y | 生活習慣病関連 | 高脂血症・ふとりすぎ |
| Y | 生活習慣病関連 | 肥満 |
| Y | 生活習慣病関連 | 肥満の傾向 |
| Y | 生活習慣病関連 | 太りすぎ |

| | | |
|---|------------|--------------------------------------------------|
| Y | 生活習慣病関連 | やせすぎ |
| Y | 乳房 | 時々左胸・乳房に痛みを感じるの |
| Y | 乳房 | 乳房が腫った感じ、生理前に情緒不安定 |
| Y | 乳房 | 乳ガン |
| Y | 乳房 | おっぱいがなかなかびったり止まらない |
| Y | 妊娠・出産・不妊関連 | 子供を産めるのか？ |
| Y | 妊娠・出産・不妊関連 | このまま子供が産めるか |
| Y | 妊娠・出産・不妊関連 | 妊娠しにくいのではないか |
| Y | 妊娠・出産・不妊関連 | 不妊 |
| Y | 妊娠・出産・不妊関連 | 不妊症 |
| Y | 泌尿器・性交関連 | 性交痛がある(なにかあたるカン?) |
| Y | 泌尿器・性交関連 | 陰部にかゆみ |
| Y | 泌尿器・性交関連 | 夫からセックススなのが以前心配でした(昨年9月まで) |
| Y | 泌尿器・性交関連 | クラミジア |
| Y | 泌尿器・性交関連 | 性行為に対して恐怖があり、痛く感じる |
| Y | 泌尿器・性交関連 | ペーチャット病で秋から冬にかけて炎症が出やすいので(以前)陰部かいようななどのいたみにくるしんだ |
| Y | 泌尿器・性交関連 | 夜トイレに2回起きること |
| Y | 皮膚 | ケロイド症 |
| Y | 貧血関連 | 中学1年生の時から貧血 |
| Y | 貧血関連 | 貧血 |
| Y | 貧血関連 | 貧血 |
| Y | 貧血関連 | 貧血？ |
| Y | 婦人科系疾患 | 子宮筋腫 |
| Y | 婦人科系疾患 | 子宮内膜症 |
| Y | 婦人科系疾患 | 子宮内膜症 |
| Y | 婦人科系疾患 | 子宮内膜症の卵そこのう腫 |
| Y | 婦人科系疾患 | 多嚢胞性卵巣症候群 |
| Y | 婦人科系疾患 | 婦人科系の病気であるのか |
| Y | 婦人科系疾患 | 婦人系の病気 |
| Y | 婦人科系疾患 | 卵巣のう腫 |
| Y | メンタル関連 | 以前、心療内科へ受診し数回薬をのんでいたが、その時だけで今はなく、生理前後の状況がちがうので |
| Y | メンタル関連 | 行行すること |
| Y | メンタル関連 | うつがたびたび起こることと頭痛持ち |
| Y | メンタル関連 | うつ状態であるので、新しい仕事にでるのが |
| Y | メンタル関連 | うつ状態になりやすい |

| | | |
|---|--------|-------------------------------------|
| Y | メンタル関連 | うつ病 |
| Y | メンタル関連 | うつ病 |
| Y | メンタル関連 | うつ病 |
| Y | メンタル関連 | 会議や研修の時、部屋にいられない。呼吸が苦しくなったり熱くなってしまう |
| Y | メンタル関連 | 外出したくない、人に会いたくない |
| Y | メンタル関連 | ガマンしすぎて疲れている |
| Y | メンタル関連 | 気分にもうがあるので |
| Y | メンタル関連 | 情緒不安定 |
| Y | メンタル関連 | 神経質で不安・心配になりがち |
| Y | メンタル関連 | 神経症 |
| Y | メンタル関連 | 精神的、心の病い |
| Y | メンタル関連 | 精神的な病気 |
| Y | メンタル関連 | 精神的に不安定 |
| Y | メンタル関連 | 体調や自分の精神状態が不安定 |
| Y | メンタル関連 | 動悸・めまい・不安感 |
| Y | メンタル関連 | 不安症 |
| Y | メンタル関連 | 不眠 |

問2

| | | 自分は〇〇であるのが心配である |
|---|--------|------------------------------|
| S | 全身的なこと | 18年前にモヤモヤ病で手術 |
| S | 全身的なこと | 朝時々吐気がでてしまうのが心配です。 |
| S | 全身的なこと | 4.5日前から目まいがある |
| S | 全身的なこと | あまり健康ではない |
| S | 全身的なこと | アレルギー体質 |
| S | 全身的なこと | あんまり元気がないので |
| S | 全身的なこと | 息切れ・動悸・朝の高血圧・つかれやすい・うつ |
| S | 全身的なこと | 一番は昼夜を問わず強く歯ぎしりすること |
| S | 全身的なこと | 起き上がれない・ふらふら・不眠・頻尿 |
| S | 全身的なこと | お腹から胸にかけてシツが冷たい、手足はあたたかい |
| S | 全身的なこと | 回転性めまい |
| S | 全身的なこと | 肩から背中・首筋にかけいたみが、月経が不順・痛みが |
| S | 全身的なこと | 肩こり・生理不順・足のしびれなど |
| S | 全身的なこと | 肩こり・腰痛・頭痛・睡眠不足 |
| S | 全身的なこと | 肩こりだけれど、こりを言うより痛み |
| S | 全身的なこと | 肩こりと背中のはり、冷え症と全身の疲労感が強い |
| S | 全身的なこと | 雷恐怖症であること。ドウキ・目まい(ホッパ)を起こすこと |

| | | |
|---|--------|-------------------------------|
| S | 全身的なこと | 体がだるくてやる気が出ない、便秘である |
| S | 全身的なこと | 体がふらふらして足が重い |
| S | 全身的なこと | 体のだるさがあり、足の痛み |
| S | 全身的なこと | 体を動かすのがおっくう |
| S | 全身的なこと | 気管支炎？咳が出て、諸々の症状 |
| S | 全身的なこと | 気分の悪い時がある |
| S | 全身的なこと | 気持ちが安定しない |
| S | 全身的なこと | 薬の副作用と思われる症状出たので |
| S | 全身的なこと | 首すじのこり、肩こり、両手の指がぴりぴりしびれ |
| S | 全身的なこと | 血糖値が少し高め、及びホルモン補充療法 |
| S | 全身的なこと | 健康 |
| S | 全身的なこと | 健康ですが心配事が多い |
| S | 全身的なこと | 現在耳鳴り |
| S | 全身的なこと | 交通事故の後まだいたい |
| S | 全身的なこと | 腰から下がしびれ、痛いのと耳鳴りがするの |
| S | 全身的なこと | このまま老化していく |
| S | 全身的なこと | 今回受診した件 |
| S | 全身的なこと | さなざまな症状が全部経過観察原因不明 |
| S | 全身的なこと | シェーグレン症候群 |
| S | 全身的なこと | 仕事に一步ふみこむ事ができない |
| S | 全身的なこと | 静脈瘤 |
| S | 全身的なこと | 女性ホルモンの分泌が正常でなく、コレステロール値が高い状態 |
| S | 全身的なこと | 身体の不調 |
| S | 全身的なこと | すいみん時間が少ない、老化が加速している様 |
| S | 全身的なこと | 睡眠中身体の痛みで目が覚めた後、眠れない |
| S | 全身的なこと | 生活の質が悪いのが向上しない |
| S | 全身的なこと | 全身にさまざまな症状が |
| S | 全身的なこと | 全身の体調優れなく |
| S | 全身的なこと | 全体は良好 |
| S | 全身的なこと | 体質が変わってきた様な気がする |
| S | 全身的なこと | 代謝が悪く貧血 |
| S | 全身的なこと | 体臭が強いようで、どこからきているか原因不明 |
| S | 全身的なこと | 体調不良 |
| S | 全身的なこと | 体調不良の原因が不明 |
| S | 全身的なこと | 体調をくずしやすいので |
| S | 全身的なこと | 体力がない |
| S | 全身的なこと | 立ち上がる時、足のこわばりとたまにいたむ |